

# 保護者の皆様へ



気になる症状がありましたら、**日中のうちに、早め**にかかりつけ医に相談してください

お子さんが新型コロナウイルス感染症にかかった場合、1～3日程度のかぜ症状ですむことが多く、ほとんどの場合は軽症です。

ただし、のどが痛く水分がとれなかったり、下痢が続くことで、熱性けいれん※1やクループ症候群※2などを伴う場合があります。

脱水を防ぐために、口にできるものを少しずつ、何度もあげましょう。

ご自宅でお子さんを見守っていただく際のポイントをご紹介します。

## ※1：熱性けいれん

お子さんが発熱した際におこる、けいれん発作です。多くの場合は数分程度でおさまり、過剰な心配は不要ですが、髄膜炎など別の病気が隠れていないか判断する必要がありますので、けいれんした場合は医療機関を受診しましょう。

## ※2：クループ症候群

のどの奥が感染により腫れてしまうことで、声がかすれたり、犬の鳴き声のようなゴンゴンという咳の出る病気です。ひどくなると息苦しくなってしまう場合があります。クループ症候群を疑う症状がでた場合は医療機関を受診しましょう。



## ご自宅でお子さんを見守っていただく際のポイント



### 自宅で見守る

発熱（38℃以上）や、咳があっても、水分がとれていて、機嫌よく遊ぶことができ、顔色が普通であれば基本的に心配はありません

※自宅の様子を見守れる場合がほとんどですが、発熱や咳、食欲低下などが気になる場合は、日中早めにかかりつけ医に相談してください

- ① 呼吸が苦しそう（ゼイゼイする、咳で眠れない）
- ② 呼吸が速い 目安：1分間に、乳児 50回以上 幼児 40回以上 学童 30回以上
- ③ 声がかすれる、犬の鳴き声のようなゴンゴンという咳がある
- ④ 横になることができない、座らないと息ができない
- ⑤ 水分・ミルクがとれない、嘔吐や下痢が頻回、口の中が乾いている、半日以上おしっこが出ない
- ⑥ 胸の痛み、動悸、息切れ、むくみなどがある
- ⑦ 生後3か月未満の赤ちゃんで38℃以上の発熱が数時間以上続いている

- ① 呼びかけても明らかに反応が弱い、返事がない
- ② ぐったりしており、明らかに顔色が悪くて、唇が紫色
- ③ けいれんしている（眼が上を向く、ガクガクする、手足を突っ張る）

救急車を呼ぶときは、「新型コロナにかかっている」と伝えてください

自宅療養の注意点などについては、[山形県ホームページ](#)をご覧ください。

